

10月分から

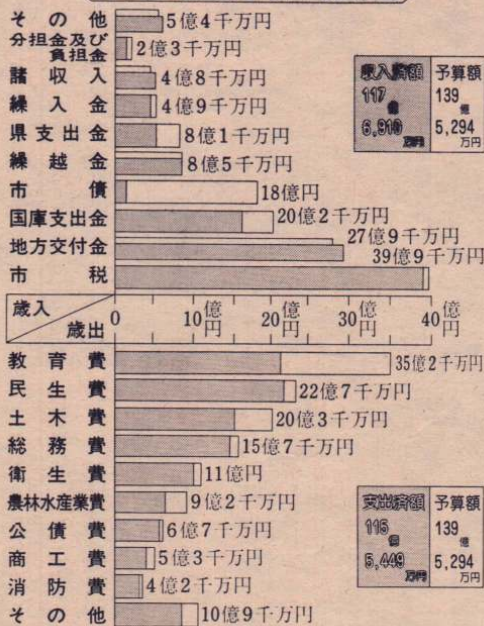
新しい水道料金になります

水道料金が10月分から下記料金表に変更になります。
 よりよい多くの水、を市民の皆さんへ供給するために、施設整備などを行ってきましたが、これまでの料金収入では運営が困難になったことにより、料金改正をしたものです。
 詳しくは、水道課へお尋ねください。(☎42-4117番)

給水装置区分	メーター呼び口径区分	料 金			
		基本料金		使料量料金	
		上水道	簡易水道	上水道	簡易水道
専用給水装置	13mm	450円	400円	10㎡まで1㎡につき105円。 10㎡を超える場合は超えた使用料1㎡につき115円。	1㎡につき85円
	16mm	900円	670円		
	20mm	1,500円	1,000円		
	25mm	2,500円	1,900円		
	30mm	3,500円	2,500円		
	40mm	7,800円	5,700円	1㎡につき115円	
	50mm	11,500円	8,500円		
	75mm	28,500円	21,000円		
浴場・プール用給水装置	100mm	47,500円	—		
	150mm	90,000円	—		
	臨時給水装置	上記に同じ	—	1㎡につき145円	1㎡につき105円
私設屋外消火栓	—	—	1㎡につき145円	1㎡につき105円 (火災による消火使用の場合を除く)	

財政事情の公表(3月末の執行状況)

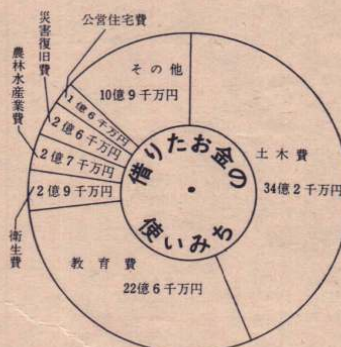
55年度一般会計3月末の収支状況



私たちが大館市の財政がどのように運営され、現在どのような事情になっているかを知っていただくため、毎年一回財政事情の公表を行っています。今回は五十五年度下半期(三月末日現在)の収支状況のあらましをお伝えし、なお一層のご理解をお願いいたします。

55年度 市の家計簿は

▼現在、市が借りているお金は一般会計で約77億5千万円。これは過年度に借り入れたものすべてを含んだ額で、道路・学校づくりなど市民の財産として残る事業に使われています。



▲55年度の道路整備事業には、郵政省簡易生命保険積立金から4千万円の還元融資を受けていました。この融資を受けて道路改良舗装したところは、麓西線・山館上の山線・川口長里8号線・大町小路1、3号線・橋桁線など8路線となっています。

国民年金だより

国民年金が改正されました①

ことしも国民年金法が改正され、老齢年金をはじめ各種年金が、下表のように引き上げられました。

拠出年金

拠出年金の実施は7月分からで、それが支払われるのは9月分です。

給付の種類	現行額(月額)	改正後(月額)	
		円	円
老齢年金	5年年金	22,600	24,367
	10年年金	26,550	28,625
	25年年金	42,000	45,275
	40年年金	67,200	72,441
障害年金	1級	52,250	56,325
	2級	41,800	45,058
母子・準母子年金	子が1人のとき	56,800	60,058
遺児年金	1人のとき	41,800	45,058

本格的な夏入り、そして私たちは「涼を求めて」行動する時です。そこから起こる事故(水難、服装軽犯、交通など)にお互いに十分気をつけましょう。

心境

私たちの周りの環境は、破壊されたり汚染されたりしています。その場合の環境とは物質的なものだけにとらわれています。が精神面での環境というところが大切。なことは何かと話し合っ、たことがありません。



No. 34

「自分の子供に限っては」そんな大人の、親の心の環境(あえて心と表現します)が、大事を招いているのではないだろうか。本来人間社会は個性豊かな連帯社会です。それを個性のままのエゴだけを主張し合うところには過ちが生まれ、それが拡大しているのではないのでしょうか。自己の確立の上にお互いに自発的、積極的に献身し合う社会、その実現に市民みんなが創意工夫し合ってみよう。

留山健治郎

「自分の子供に限っては」そんな大人の、親の心の環境(あえて心と表現します)が、大事を招いているのではないだろうか。本来人間社会は個性豊かな連帯社会です。それを個性のままのエゴだけを主張し合うところには過ちが生まれ、それが拡大しているのではないのでしょうか。自己の確立の上にお互いに自発的、積極的に献身し合う社会、その実現に市民みんなが創意工夫し合ってみよう。

どんなにすばらしい企画であっても、それが行動(事業化)に移されなければ無に等しく、またタイミングのずれた行動も効果は半減してしまうことは、時代がそうであるだけに当然であると考えます。とすれば、その企画は「前後、左右」を見越した行動しやすいものでなければならぬし、行動もまた企画性の意図するところを良く理解しなければ適期を失うこととなります。要は、両者共に衝動であってはならないこと、つまり思いつきや深慮が不足してはならないことでありましょう。と言って深慮の余り、初動行動を起こすことを怠らなくてはならないと思います。何か事がむすかしくなると「時が解決する冷却期間をおく」といいます。これも一つの方法ですが、それが通常化したのでは迷惑するのでしょうか。「休まず、誠実に続ける」そうありたいものです。

初動、衝動